

湖の遊覧船を見る(その2) 東北・関東甲信越編

2021-8-18 池田良穂

北海道から本州には、津軽海峡フェリー(旧東日本フェリー)の「ブルーハピネス」で渡りました。内海造船で建造された4姉妹船の1隻で、初めての車での乗船でした。

「ナッチャン Rera」導入時に大改装された函館ターミナルは、予約をしていれば車に乗ったまま高速道路の料金所のようなゲートでチェックインができます。

「ブルーハピネス」はお盆で混んでいたため、船首側にある展望シート(ビューシート)の予約ができずに、インサイドプロムナードのテーブル席で3時間40分の航海を楽しみました。台風くずれの低気圧の影響で風が強く、外部デッキへの出入りが制限されていました。船内のレストランは廃止され、レトルト食材を自販機で購入して、電子レンジで温めて食べるか、案内所で販売のお弁当を購入するかの二択になっていました。

青森に到着して、車で奥入瀬溪谷の山道を通って十和田湖に到着しました。十和田湖には、220総トン級の双胴遊覧船「八甲田」3姉妹が運航されています。

翌日は、田沢湖に寄ってから、那須塩原まで南下し、那須の御用邸に隣接する温泉ホテルに宿泊しました。

朝のうちに、100kmほど戻って猪苗代湖と桧原湖(ひばらこ)の遊覧船を見ました。両湖共に磐梯観光船が2隻ずつの遊覧船を運航しています。猪苗代湖はくちょう丸とかめ丸という、白鳥型と亀型の船でした。

一方、桧原湖の遊覧船は休航中とのこと

で、湖の一面に係留されているのが遠望で来ただけでした。

最後は、岐阜県の諏訪湖に寄りました。遊覧船は運休中でしたが、栈橋に停泊している姿は撮影することができました。

途中に、たまたま八ッ場ダムの横を通過した時に、ダム湖に水陸両用バスが航行しているのを見つけて、道の駅に駐車している姿も撮影ができました。

ブルーハピネスに乗船

函館から津軽海峡を渡って本州に行くルートは2本あり、青森との間に津軽海峡フェリーと青函フェリー、大間との間に津軽海峡フェリーの船が運航されています。今回は青森航路の「ブルーハピネス」に乗船することができました。



函館港の津軽海峡フェリーのターミナルは、車に乗ったままゲートを通してチェックインができます。



船首のランプウェイから乗船しました。



船内ランプを通過して、上層の車両甲板に上がりました。



上層の車両甲板は乗用車で一杯になりました。



航海中はインサイドプロムナードのテーブル席で過ごしました。



僚船「ブルールミナス」と反航しました。続いて「ブルーマーメイド」、「あさかぜ 21」とも反航しました。

十和田湖

青森県の八甲田山の南の山中に位置する十和田湖には、3 隻の遊覧船が稼働していました。



第一八甲田



第二八甲田



第三八甲田

田沢湖

秋田県の山中にある田沢湖では、遊覧船は修理中とのことで運休中。2 隻ともに陸上に上がっていました。



「高速艇たざわ」



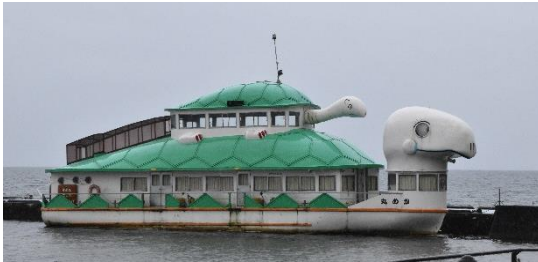
「高速みどり」

猪苗代湖(いなわしろこ)

福島県の会津磐梯山の南にあるのが猪苗代湖です。ここには、白鳥型と亀型の遊覧船が就航しています。



「はくちょう丸」



「かめ丸」

桧原湖(ひばらこ)

会津磐梯山の北側の裏磐梯と呼ばれる地域にある湖で、2隻の遊覧船が運航されていますが、訪れた当日は運休中でした。湖の一面に係船されている「あづま丸」が遠望できました。



あづま丸

中禅寺湖(ちゅうぜんじこ)

栃木県の観光地日光の近くにある湖で、高校の修学旅行で訪れて以来半世紀ぶりの訪問でした。有名ないろは坂を上ってから、湖面まで降りると、遊覧船の棧橋がありました。ちょうど遊覧船「けごん」がやってきましたが、他の2隻の姿はありませんでした。チケット売り場で聞くと、2隻は係船されていて、隣の港にいるとのこと。車で10分ほどの棧橋に「男体」と「アストリア」の

姿がありました。



「けごん」



「男体」(なんたい)



「アストリア」

ハッ場ダム湖(やんば)

建設途中で、政治的な思惑から工事が止まりましたが、その後工事が再開され完成にこぎつけたハッ場ダムの横を通った時、湖面を行く水陸両用バスの姿が見えました。近くの道の駅が発着場になっていて、停車中の姿も撮影できました。



ハッ場ダム湖のダックツアー船



道の駅の発着場で待機する水陸両用観光船です。

諏訪湖(すわこ)

2017年発行の「フェリー・旅客船ガイド」によれば長野県の諏訪湖には、3社の会社が遊覧船を運航しているはずですが、訪れたときには1社も運航していませんでした。



諏訪湖観光汽船の棧橋には「すわん」(99トン)と、新しそうな「スワコスターメイン号」が停泊していました。折からの豪雨のせいか、湖面には木の枝が一面に広がっており、ボート船員が網ですくって除去を試みていました。

上の写真の白鳥の頭に黒い突起のようなものが見えますが、帰宅してから写真をチェックしてみると、下の写真のように、小型の鷹がとまっていました。



「スワコスターメイン号」



諏訪湖の周辺を廻ってみると、茶色の客船らしき船(上の写真)と、白鳥型の遊覧船(下の写真)が係船されていました。廃船のようにも見えますし、修理中とも見えますが、ご存じの会員はご教授教示ください。